

ファイナルレポート

国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市
上海マシンビジョン見本市 / マシンビジョンテクノロジー&アプリケーション カンファレンス
2019年3月20日～22日 / 中国・上海新国際見本市会場

2019年3月27日

LASER World of PHOTONICS CHINA 2019:
フォトニクス、イノベーション、出展企業 1,177 社

Summary

- 65,705 人のエンドユーザーとビジネス来場者
- 出展企業 1,177 社がインテグレーショントレンドを紹介
- アプリケーションが新たな開発につながり、イノベーションが未来を創る

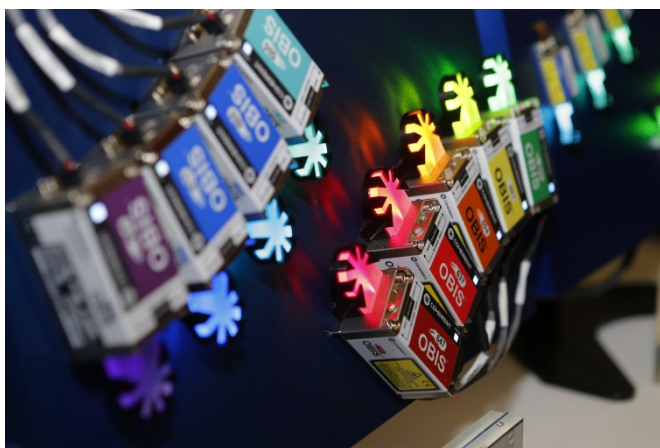


Facts & Data

会期	2019年3月20日(水)～22日(金) 午前9時～午後5時(最終日午後4時まで)
会場	中国・上海新国際見本市会場
主催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン MM (Shanghai) Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規模	60,750 m ² (2018年 51,750 m ²)
出展企業	26ヶ国 1,177 社 (2018年 25ヶ国 977 社)
来場者総数	65,705 人 (2018年 55,872 人)
専門分野	レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、マシンビジョンイルミネーション
主な出展品	光学コンポーネント : レーザー・オプトロニクス、オプティクス、センサー、検査・計測、サービス オプティカル製造技術・光学アプリケーション : レーザー加工・製造技術、オプティカル計測システム、医療用レーザー、バイオフォトンクス・ライフサイエンス、イメージング、イルミネーション
専用 URL	www.world-of-photonics-china.com (英語 / 中国語)

LASER World of PHOTONICS CHINA は、今回、見本市史上初となる 1,000 社以上の出展企業を迎え入れた。26 か国から計 1,177 社が 60,750 m²のスペースに出展を行った。出展社数が記録を更新しただけでなく、来場者数も過去最高の 65,705 人(前年比 17.6%増)であった。

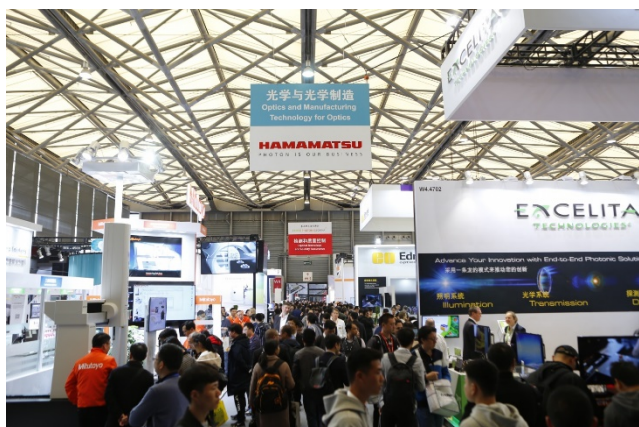
メッセ・ミュンヘン常務取締役のファルク・ゼンガーは、この見本市の成功について、「LASER World of PHOTONICS はフォトニクスが中国における主要技術の一つであることを見事に証明した。見本市 3 日間のイノベーション、ソリューション、そして、満員のホールは、この見本市がアジアを代表するレーザーとフォトニクスの見本市であることを再認識させた」と語った。



スマート製造にフォーカスした産業チェーン全体のプラットフォーム

次の五つの主要展示エリアは、レーザーによるスマート製造のバリューチェーン全体をカバーするものであった。「Lasers and Optoelectronics」、「Optics and Manufacturing Technology for Optics」、「Lasers and Laser Systems for Production Engineering」、「Imaging and Machine Vision」、「Optical Metrology and Quality Control including Infrared Technology and Applications」。フォトニクス技術の応用の拡大が見込まれるなか、製造業の変革と高度化には、製造工程をフォトニクス技術に適応させることが必要である。中国における製造業の好景気に加えて、この見本市ではドイツ、日本、リトアニア、韓国、スイス、台湾、中国、アメリカの 8 か国のパビリオンや 26 か国のハイテク企業の展示も呼び物になった。

上海 NEWPORT-MKS Instruments 社副社長兼部長の Mark Gitin 氏は、「LASER World of PHOTONICS CHINA は素晴らしい見本市だ。現在のパートナー企業との情報交換やビジネスの拡張には、最高のプラットフォームだ。来年の 15 周年開催も楽しみにしている。実のところ、30 周年記念も待ち遠しいくらいだ」と述べた。



今回新たにオープンした OW7 ホールでは、科学研究及び革新的応用に包括的なサービスを提供する目的で、科学研究サービスエリアが特設された。このエリアは研究者が研究を深め、視野を広げ、革新的成果を達成することを奨励するものである。

中国計量大学/オプトエレクトロニクスカレッジの講師である Tianqi Zhao 氏は、「LASER World of PHOTONICS CHINA への参加は実りの多い結果をもたらした。様々な製品を目にすることができたことに加えて、有益だったのは、中国や国外の技術的リーダーたちと、将来の協業や技術の向上に役立つ情報交換ができたことだ」と述べた。

新たな製品の集結、中国の強みにフォーカス、好調なフォトニクス産業をアピール

2019 年の LASER World of PHOTONICS CHINA は、再び、この業界の重要なイノベーションとアプリケーションの完ぺきな展示を行ったといえる。新エネルギー車、LiDAR、バイオフォトニクス、5G、折り畳み式スクリーン、スマートプロセッシングといった分野で、約 1200 点の新製品が当見本市で公開された。様々な先端技術や製品が来場者の注目を集め、フォトニクス業界における中国市場の重要性の高まりを十分に実証した。

武漢 HG Laser Engineering 社インテリジェント機器副本部長 Hengyang Mo 氏は、「この見本市は業界全体にとって非常に重要だと考える。レーザー技術とそのアプリケーションについて意見を交わすことができる良いプラットフォームである。弊社の開発イニシアティブの多くはこの見本市で入手した情報に基づいている」と述べた。



スマートマシンビジョンは未来を見通す

人工知能(AI)の不可欠な部分として、マシンビジョンは急速に発展してきて、今では産業を主導する力となっている。Vision China 2019 はこの見本市と併催され、20 以上の国と地域から参加した 240 社が、15,000 m²以上のスペースに出展を行った。3 月 20 日に 2018 Machine Market Report が CMVU によってリリースされた。そのレポートによると、中国におけるマシンビジョン業界の 2018 年売上高が対前年比 21%増加し、複合成長率は 2019 年から 2020 年にかけて 23.5%に到達すると予測されている。第 2 回 VISION China Innovation 賞が、マシンビジョンのイノベーションを称えて発表された。二日間半開催された会議では新製品に関する 27 件のテクニカルレポートが紹介され、1,347 人の専門家の代表者が招待された。

TELEDYME IMAGING 社副社長の Jack Cheung 氏は、「この見本市はとても評判が良く、来場者のレベルも高い。全体的な感触として、前年開催より明らかに良くなっているといえる。この結果にとっても満足している。」Lingyun Optics 社 Vision and Image Device 副本部長 Buli Xia 氏は、次のようにコメントした。「毎年この見本市では多くの新製品やアプリケーション、また市場の需要を見ることができる。今後、インダストリー4.0を通じて、この業界の発展を促進する、より新しいトレンドや先進技術が生まれると思う」と語った。

10 のテーマ、100 人の主要人物、踏み込んだ科学交流と協力のための多数のフォーラム

PHOTONICS CONGRESS CHINA とそのほかの支援プログラムは、今回もまた、この見本市と並行して開催された。カンファレンスでは有意義な論題が取りあげられ、レーザー加工、先端レーザー、光学技術、赤外線イメージング技術、レーザー・レーダー、レーザー安全性、ビーム解析といった業界の最も重要な議題に焦点が当てられた。これらのイベントでは、科学研究の世界と産業界が一堂に会し、科学研究のより実用的な側面を強調するものとなった。カンファレンスでは、世界中から著名な次のような科学者が注目され、彼らは共に素晴らしい知的アイデアを発表した。2016 年に SPIE (国際光工学会) の会長を務めたアメリカ国立工学アカデミーメンバーの Robert Arthur Lieberman 博士、中国工学アカデミー教授で学士院会員の Jian Huisen 氏、中国工学アカデミーで学士院会員の Pan Junxi 氏、中国計測制御学会会長兼中国光学会理事で学士院会員の Zhuang Songlin 教授、SPIE 特別研究員 Sen Han 教授、ネブラスカ大学リンカーン校の電気・コンピューター工学科の Lu Yongfeng 博士、量子エレクトロニクス研究所教授兼北京大学情報学部教授の Zhang Zhigang 氏。この会議は、Vision China Conference を含めて、3,826 人も参加者を魅了した。

中国光学会のレーザー加工委員会代表 Youliang Wang 氏は、「私たちは、中国レーザー業界の発展を、その初期の頃から目の当たりにしてきた。今回紹介された製品は素晴らしい進歩を遂げ、見本市は来場者間で非常に好評であった。LASER World of PHOTONICS CHINA は今後も成長し続けると信じている」と締めくくった。



次回の LASER World of PHOTONICS CHINA は 15 周年を迎え 2020 年 3 月 18 日～20 日、上海新国際見本市会場にて開催される。詳細情報ならびに写真は、専用 HP www.world-of-photonics-china.com まで

LASER World of PHOTONICS CHINA 2019 主な出展日本企業(現法出展など含む)

(株)アマダミヤチ、(株)アートレイ、SMC(株)、(株)オキサイド、沖電線(株)、(株)オプトコム、オムロンセンテック(株)、(株)キーエンス、ギガフoton(株)、興和光学(株)、(株)小坂研究所、コニカミノルタ(株)、santec(株)、CBC(株)、シーシーエス(株)、澁谷工業(株)、(株)ジェイエアイコーポレーション、住友電気工業(株)、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、ダイトエレクトロン(株)、テクノハンズ(株)、(株)テクニスコ、DOWA エレクトロニクス(株)、(株)ニコン、日東光器(株)、一般社団法人日本インダストリアルイメージング協会、(株)ハギテック、浜松ホトニクス(株)、平河ヒューテック(株)、富士フイルム(株)、(株)フェローテック、(株)ミットヨ、(株)ミュートロン、明立精機(株)、(株)モリテックス、安田産業(株) など (50 音順)

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)